

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道月形高等学校長 安 達 妙 己 印

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 地域の自然・文化・歴史への理解を深め、地域を思い地域に貢献する心の育成
- (2) 確かな学力、たくましく生きる力、豊かな心の育成
- (3) 生徒一人一人を理解し、主体的に学校生活を送る態度の育成
- (4) キャリア教育の充実ならびに適性や進路に対する理解を深め、進路目標実現に向け主体的に取り組む態度の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・学びの保障についての体制を整えた。 ・小規模ならではの一人一人に手が行き届いた教育活動ができた。	・これまで同様に少人数ならではのきめ細やかな学習指導を続けてもらいたい。
改善方策	・学びの保障については教務内規を改定しオンライン授業等に対応する。 ・定期テストを廃止し、各単元ごとにテストを行い生徒の習熟度をきめ細かく評価する。 またこの結果を受けてPDCAサイクルを回して授業改善を進める。	
生徒指導	・年間を通じて落ち着いた学校生活を維持することができた。 ・生徒理解ツール「QU検査」「ほっと」を活用し生徒ひとり一人の分析、生徒理解研修で結果を共有し、日々の指導につなげることが出来た。	・安定した学校生活が送られていることがよくわかる。今後もこの状態を維持してほしい。
改善方策	・教職員と生徒との人間的で豊かな関係の構築を通じて生徒の内面に寄り添い、生徒の社会性向上の充実を図り、いじめの無い安心・安全な学校作りを進める。 ・「ほっと」「QU検査」【生徒理解ツール】「Litalico」【特別支援校務援助ツール】の効果的な活用を推進する。	
進路指導	・少人数ではあるがT-base 主催の講習や講演会など継続して受講している。 ・先輩の体験談を興味深く聞く「卒業生講話」、未知の世界に目を開くことのできた「企業説明会」など、有意義な学びの場を生徒に提供した。	・T-baseなど有効に活用している。 ・進路に向けて、それぞれが意識的に行動が出来ていたと思う。
改善方策	・遠隔配信授業の周知に努め、大学進学等に対応できることの広報活動に努める。 ・資格取得や模試等の充実を図り、進路意識の高揚を図る。	
健康安全指導	・健康安全に対する計画的な取組を実践して意識の高揚を図った。 ・登校時のバス乗車指導を実施した。 ・「一日防災学校」において全教職員が各教科において取組、危機管理意識の高揚を図る授業ができた。	・1日防災学校の内容を工夫して取り組んでいた。 ・通学に乗物利用者が多いので交通機関のトラブル時の安全指導をお願いする。
改善方策	・生徒の健康増進に向けた保健室前の掲示や保健だよりを今後も積極的に実施していく。 ・1日防災学校等の内容の充実を図り、安全安心な教育環境を推進する。	
保護者、地域住民との連携	・月形町からの多大な人的、物的援助を頂き、効果的な教育活動を推進できた。 ・PTA活動の活性化を進めているが道半ばである。 ・北海道MA+CHプロジェクトにおける地学協働活動を通じた活動など、探究活動を通じて多様な学びが行われている。 ・生徒にボランティア活動への参加をすすめたが、参加する生徒が固定化してしまった。	・積極的な取組や情報発信が行われている。 ・各種行事でPTA（保護者）と連携がとれていた。ボランティア活動でも連携を取って参加を促して欲しい。 ・地域資源を有効に活用している。
改善方策	・PTA活動について役員会、総会で協議を重ね新たな活動の形を模索する。令和8年度北海道高等学校PTA連合会全道大会空知大会に向けた準備を進める。 ・北海道MA+CHプロジェクト事業に伴い総合的な探究の時間を有効に利用して、地域課題の解決を目標に、地域との連携を図る。 ・社会貢献やボランティア活動の意義と必要性をHRや授業を通じて生徒に周知する。 また、社協等の関係機関との連携を深める。	
公表方法	ホームページ、学校運営協議会、PTA役員会・総会等	

3 添付資料

- (1) 令和6年度 学校評価自己評価票
- (2) 令和6年度 自己評価結果に対する学校関係者評価
- (3) 令和6年度 保護者アンケート集計